

ために見るべし

幸々心ホ鳥

2023. 9. 30~10. 6

今週の

倫理

9月のテーマ | 気づきをいかす

1353号

「あの業務は先に済ませておいたほうがいい」
 「これは危ないから片付けておこう」と
 せっかく気がついていながら、後回しにし
 てしまい、(やはり、あの時にしておけばよ
 かった)と後悔したことはないでしょうか。
 失敗や事故の原因は、慣れや慢心による
 甘い判断であるケースが多いといわれます。
 『万人幸福の栞』には『気づいた時、気
 がるに、喜んでさつと処理する』『気づくと
 同時に行なう』—これは成功の秘訣、健康
 の秘法である「気づいた時—それは、その
 事を処理する最好のチャンスである。それ
 をのばせば、次第に条件がわるくなる。事
 情の最も高潮に達した時、その波動が、人
 の脳に伝わって気がつくようになってい
 る」と記されています。
 朝に目が覚めたらすぐ起きる「朝起き」
 の実践や、気づくと同時に実行する「即行」
 の実践をすると、気づきの感覚が研ぎ澄ま
 されていきます。
 何かをしようと気づいたら、すぐする、
 気づくと同時に行なう。あの人を訪ねよう
 と思いついたら、すぐに訪ねる。この習慣
 をやめようと思ったら、すぐにやめる。す
 ると他にも必要なことにどんどん気づける
 ようになり、大きな問題を未然に防げるば
 かりか、的確な判断力、決断力が身につく
 のです。
 「気づき」を分析すると三種類あること
 が分かります。
 第一は「経験や知識からの気づき」です。
 自分自身の過去の経験、そこでの失敗や成



叡智である気づき に向き合う

功をもとにした気づき、学問から得た知識
 からの気づきです。
 第二は「五官からの気づき」です。文字
 通り、目や耳、そして鼻や口から得た感覚
 をもとにした気づきです。
 第三は「第六感による気づき」です。こ
 れは生命感覚の気づき、研ぎ澄まされた感
 覚に生ずる次元の高い気づきともいえます。
 人間を生かす目には見えない偉大な力、宇
 宙の営みによる気づきです。純粹倫理でい
 う気づきは主にこの気づきを指します。
 ◆
 飲食店を全国に展開するY社長は、二〇
 二〇年一月初旬、多くの店を閉じる決断を
 しました。それはある朝、いつものように
 ニュースを見てみると、諸外国の感染状況
 が報道され、飲食店事業は縮小したほうが
 良いと強く直感したからでした。当時は
 従業員や飲食店仲間からも猛反対を受けま
 したが、翌月以降、日本でも感染症の報道
 が過熱していったのです。
 そんな最中、Y社長は自身の気づきから
 早い時期に閉店を決定し、三月初旬にはそ
 の作業を終えていました。そして代わりに、
 通販事業やその他事業に力を注ぐことで、
 従業員を解雇せずにコロナ禍を乗り切った
 のです。現在は飲食店の再オープンに向けて
 奮闘しています。
 このように、第六感で理論では説明でき
 ない確かな判断を下せたケースは多々あり
 ます。「気づきは叡智である」と心得て、
 自身の気づきに向き合ってみましょう。

九月度一句「艶やかに咲き嬉しや曼珠沙華」